



WEEKLY REPORT



2013～2014年度RIテーマ
ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

◎創立1990年10月31日 ◎承認1990年11月16日 ◎例会日時 毎週水曜日 (PM6～7時) ◎例会場 一宮商工会議所
◎事務局 〒491-8686 一宮市栄4丁目2番1号 一宮商工会議所2F TEL (0586) 24-1959 FAX (0586) 71-4390
E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: <http://www.138crc.com> HP-ID-No.:

◇会長 柴田裕市 ◇会長エレクト 松岡正浩 ◇副会長 猪子裕史 ◇幹事 春木和美 ◇クラブ会報委員長 石原稔久

平成26年4月23日(水)

第1106回(当年度第39回)例会

本日のプログラム

卓話

「ロータリー財団未来の夢計画について」
地区ポリオプラス副委員長
横井 定様(稲沢RC)

会長挨拶



柴田裕市

4月1日チリでM8.2の大地震がありました。内閣府の有識者検討会は、富士山が300年も静かなのは異常、南海トラフで半世紀以上も大地震が起きず、富士山が大噴火しなかったのは、まさに幸運としてました。

地球で起こる地震の最大規模は、理論上「M(マグニチュード)10程度」とする研究結果で東北大地震・噴火予知研究観測センターがまとめたエネルギーは、M9.0だった東日本大震災の30倍超に相当する。「M10の地震が必ず起こることではなく、もし起こるとしても、1万年に1回程度」としている。

東日本大震災から1年後くらいの話でしたが、1867年(約150年前)米国がロシアからアラスカを購入した値段が720万ドル、1エーカー当たりで2セントといつから現在の為替相場で単純計算すれば、1ヘクタールでわずか4円弱だったそうですが、それでも当時は無駄な投資といわれたそうだが、金鉱や油田が発見されて一変した。最近米ホワイトハウスの公式サイトにアラスカのロシア返還を求める声が多数寄せられ、ロシアでは「痛恨の売却」と評されている。

アラスカほどではないが、日本で1平方メートル当たり1円で宅地が買える。北海道中部にある人口2700人の街、秩父別町の話である。3年以内に家を建てて、住民票を移して暮らすことが条件。1期分の13区画はほぼ完成し、2期分を現在分譲している。札幌や九州の他東京や千葉から移り住むシニア層もいるそうです。さらに格安な例もあり、栃木県那珂川町などのように土地代はタダという町だ。しかし、立地に難点があるためか問い合わせは多くても秩父別町のようにはいかないらしい。田舎暮らしに憧れる人は多いが、見ず知らずの土地では、腰がひけるのでしょ。そこで将来の定住を狙って知恵を絞ったのが鳥取県智頭町だ。地震などで家を失ったら、年1万円の会費で

1週間、町で宿と食事を保証する事業を打ち出した。名づけて「疎開保険」。災害がなければ、コメや野菜を贈る契約者は大阪・東京を中心に数百人に上るそうだ。契約者に限った疎開体験ツアーもあるそうです。まずは、とにかく縁をつくってそこから始める事でしょうか。

地区研修協議会報告 2014.4.13(日)



◎第1分科会 次年度会長 松岡正浩君

2014-15年度国際ロータリー会長 ゲーリーCKファン氏のテーマは、「ロータリーに輝きを」です。強調事項として、地域社会でロータリーの存在感を高めること/会員増強/ポリオ撲滅/クラブの強化/ロータリーデーの実施です。そして、2760地区2014-15年度ガバナー近藤雄亮氏の地区方針は、「集まろう・語ろう・楽しもう」です。地区行動方針として、行事への積極的参加、多様性の再認識、奉仕の理想と実践、会員増強です。

ロータリーデーとは、ロータリアン、ロータリーファミリー、一般の人が一緒になって行う地域密着型のイベントを行う日となっています。次年度、一宮中央RCとしては、サッカー大会をロータリーデーとして行いたいと思っております。地区研修協議会も終わり、いよいよ次年度が始まるという感じがしてまいりました。気を引き締めて7月よりスタートしたいと思っております。

◎第2分科会 次年度クラブ奉仕委員長 加藤辰己君

テーマは、会員増強であり、会員増強がクラブの活性化の命「楽しくなければロータリーではない」の標語を掲げて研修会であった。(参考:現在の日本のロータリアン総数は約88,000人で10年前と比較して15,000人減少している)ロータリーが組織体である以上、会員増強は変わることのない永遠の課題である。その課題となる会員増強には次の3点がある。

1:新会員の確保 2:会員の維持 3:会員の強化
アドバイザー各位からは、クラブは一業種 一人の会員で構成するというのがロータリーの始まりであった。しかしロータリーの長い歴史のなかで職業分類や入会資格の要件も変化してきた。発足当初は1業種1人ゆえ、地域で選ばれたロータリアンとしての意識もあり、ロータリーの原点となる、超我の奉仕が芽生え、そして、異業種の会員との交流から、一層の意識高揚が生まれ、同時に会員も増えて退会者も無かった。また、近藤ガバナーは不易という言葉をもって意識改革を呼びかけています。…経年によるロータリーの外観の違い(RIの規定などの変化)はあっても、根底

にあるロータリーの発足の思いは変わってはいません…と記述して1960年代に起こったロータリーの原点を学ぶことにより、闊達なロータリー活動が生まれることを切望されておりました。いずれも、発足当初のロータリーの原点を学ぶことにより、情報量が豊富となり、ロータリーに対する考え方に味がつき、結果、会員の維持・強化につながるものと結ばれました。なお、増強については各クラブの実情に応じて、規定を意図的に利用して実践してくださいと解釈しました。

◎第4分科会 次年度社会奉仕委員長 加藤恭章君
社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活・事業生活・社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励・育成することである。具体的には、社会奉仕プロジェクトを実施するにあたっては、会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を生かし、地域のニーズを汲み、地域内のクラブの立場や力場を考慮して、プロジェクトを始める。また、IAC、RACその他グループと緊密に協力し、必要とされる資金や人材の提供までも含めて地域社会とも参加を求める。結果として、社会奉仕プロジェクトが一般社会の人々に十分認められるようにすることが重要であるとのこと。

◎第5分科会 次年度国際奉仕委員長 岩田真周君
2014～2015年度は「世界の現状を理解し、奉仕の心で親睦と平和を！」をテーマに掲げて開催されました。国際奉仕、識字率向上活動、地区国際奉仕活動報告のそれぞれのリーダーから説明があり、識字率向上活動では、アジア太平洋地域には字の読み書きのできない人が多く、理由として貧しいが為学費が払えない、近くに学校がない、女性は若くして結婚するため学ぶ必要がない、家で話す言葉と学校で学ぶ言葉が違う、給料が安いので教員になる数が少ない等が挙げられていました。地区国際奉仕活動報告では、2760地区WCS活動で、2005～2006年度よりラオスにて4年間、小学校の教室・教員室・トイレなどを建設、2009～2010年度よりベトナムにて3年間、学校・幼稚園・図書館等の建設活動報告がありました。当クラブも2年間に渡り、カンボジアの小中学校・教員養成学校への奉仕活動をしてまいりました。今後も奉仕活動を継続していくことの重要さと、その恩恵を受け、一人でも多くの子供達に夢ある将来への導き道開ができればと思いました。

◎第6分科会 次年度青少年奉仕委員長 今井多美子君
テーマは、「ロータリーの公共イメージと青少年ファミリーの認知度向上」と題して次期青少年委員長リーダーをはじめ、IA、RA、RYLA、青少年交換の各アシスタントリーダーが活動方針を発表され、その後6名程のグループディスカッションで意見交換が行われました。今回は、11/1～3まで行われますロータリーデーを成功させる為の意見交換もしました。最後に「スマホに子供のお守りをさせるな」ということで子供の健全育成の為に電子メディア、スマホなどが子供達に与える影響というものを考えてほしいというお話がありました。地区研修協議会に出席して身の引き締まる思いと皆様にご協力を願いつつ岐路に着きました。

◎第7分科会 次年度R-1財団委員長 永田 正君
次年度ガバナー方針では、「奉仕の理想と実践」が地区行動方針で述べられています。又、2007年規定審議会では未来の夢計画の目標として「人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善平和を達成できるようにすること」と記述されております。奉仕と寄付は車の両輪です。「何も出さない何もしない」ではなく、少しでも寄付をして少しでも多くの補助金を頂き、奉仕の手を世界に広げようではありませんか。「年次基金は1人当たり150ドル寄付、ポリオプラス基金は各クラブ1,500ドル(DDFより)、恒久基金は各クラブベネファクター(1,000ドル)を1人」が次年度日本の財団寄付目標です。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

◎第8分科会 次年度米山奨学委員長 田宮 均君
米山奨学事業の概要説明、ロータリアンの減少に伴い、奨学生を800名から700名に減らさざるを得なかったという現状の紹介があった。また、クラブ委員長の役割、奨学生の選考方法、次年度は37名を採用したいこと、米山奨学生の広報ツールとしてHPを活用して欲し

いこと、奨学生と学友との交流等の紹介があった。さらに、元米山奨学生の方の卓話もあって、米山奨学会についての理解を深めることができた。なお、中国系の採用が多すぎるとの質問に対しては、元々中国系の母数が大きく、成績で普通に採用すると7割を超えてしまうところを押さえ込んでいるとのことであった。

ニコボックス(ABC順)

- ☆春木和美君
今日、散歩をしていたら、公園の藤の花が咲いていました。とてもいい香りですネ!
- ☆今井多美子君
例会に出席できたので。
- ☆梶原誠二君
例会に出席できたので。
- ☆松前裕己君
例会に出席できたので。
- ☆松岡正浩君
先日の地区研修協議会では、出席された皆様お疲れさまでした。本日、第4回予定者会議、無事に終わりました。お疲れさまでした。
- ☆森 明美君
地区協に行くJR駅で不審なおじいさんに背後から私の顔をのぞき込んで「きれいじゃないがや」と二度も言われ落ち込みました。
- ☆森 俊一郎君
ビールのおいしい季節になりました。飲み過ぎ注意!!
- ☆永田 正君
健康であることに。
- ☆野田義広君
いいことが少なかったので!
- ☆小野木宏君
例会に出席できたので。
- ☆大塚省治君
先日の地区研修協議会へ出席された皆様、お疲れさまでした。加藤さん、松岡さん、ごちそうさまでした。第4回予定者会議、無事に終わることができました。理事役員委員長の皆様、ありがとうございました。
- ☆尾関一之君
健康であることに。
- ☆佐藤祐造君
例会に出席できたので。
- ☆柴田裕市君
4月13日地区研修協議会には、次年度理事役員委員長の皆様の出席で、ご苦労さまでした。
- ☆田宮 均君
悪いことが少なかったので。
- ☆山田秀代君
良いことがあったので。



第1105回(当年度38回)の記録

- 平成26年4月16日(水) 18:00～
- 会場 一宮商工会議所3Fホール
- 開会の点鐘 柴田会長
- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 出席・ニコボックス報告 野田副委員長
- ロータリーの友紹介 坂田委員長
- 幹事報告

会員出席	会員総数	44名	
	出席会員数	28名	81.82%
状況報告	他クラブ出席数	8名	
	修正出席率	前々回(4/1)	100%

(4月30日(水)定款6-1により休会)
次回5月7日(水)の予定
会員卓話
「弁護士の役割」
寺本倫子君